



中学生の皆さんミニ体験授業によようこそ！～申込みを待っています～

11月12日(木)、浅科中と芦原中の3年生5名と保護者2名が、本校ミニ体験授業に参加しました。両中学校の生徒さんは、前回の体験入学に参加できなかった方々で、学校側の説明、数学の体験授業、本校生の授業や施設の見学など、充実した時間を過ごしました。

今後も申し込みをお受けいたしますので、本校 (Tel0267-56-1015) へご相談ください。



体験授業 (数学)



授業見学 (家庭)

生徒感想:「授業と説明はすごく分かりやすかったので良かった」「色々な所や授業を見られてよかった」

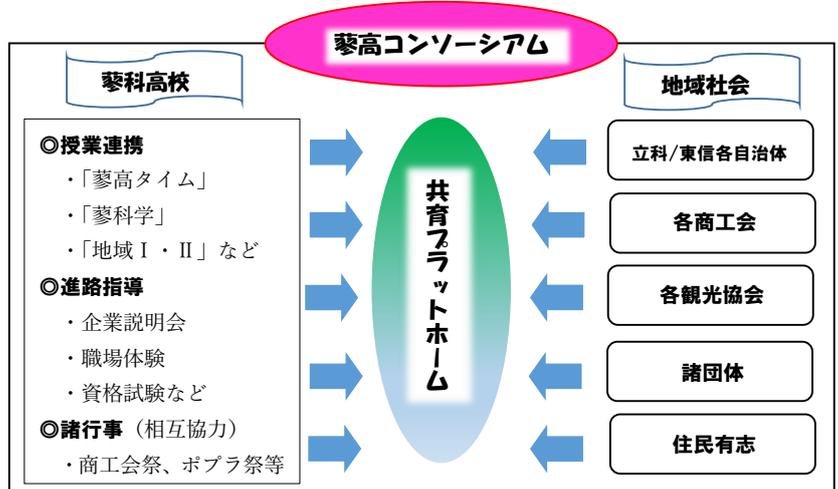
保護者感想:「説明と数学の勉強がとてもよかったです」「生徒や先生の雰囲気がよく分かりました」

地域連携教育の展望 ～蓼高コンソーシアム (共同事業体) 構想～

今号では、11月6日(金)に本校で行われた学校評議員会(No.16 参照)で発表した、地域連携構想をお伝えします。

右図は、本校が実践してきた地域連携の関係を図式化したものです。

右図は、本校が実践してきた地域連携の関係を図式化したものです。従来主に行なわれているのは「授業連携」です。これを「進路指導」や「諸行事」に拡大し、学校全体の教育活動を通して、地域社会(立科町を中心とする東信全域)の協力により生徒を育てるシステム、コンソーシアム(共同事業体)の確立を考えています。



具体的には地域の各団体や個人と学校の各担当者が「共育プラットフォーム」で連携調整し、校内での教育活動に落とし込む仕組みのイメージです。立科商工会様など、すでに連携を始めた団体もあります。

「地域の未来を創る教育・地域を担う人材を育てる」ことを目標に、この構想が絵に描いた餅にならぬよう、絶えず学校側からのアプローチを積極的にすすめる所存です。

困ったお話(その14) 私のDIY実証事業!(車の霜よけカバー)

立科の冬は厳しい。なぜ野生のペンギンが出没しないか不思議なくらいだ。そういえば、白クマを目撃した!

注1. このままいくと氷河期に入るだろう注2.

(注1: コンビニのアイス売り場で) (注2: いつかは)

朝は自動車のガラスに霜がびっしりついて、エンジンをかけ取り除くまでに5分はかかる。ワイパーは凍りつき、指はこごえる。霜よけカバーを買おうにも、軽トラにフィットする既製品はなく困った。そこで、ダメもとで自作しようと思い立ち、100円ショップに行き表の材料を買い、以下の工程でつくってみた。

① アルミシートを軽トラの前後横の窓枠サイズにあわせて計4つの長方形に切る

品名	規格	個数	計(円)
保温アルミシート	90cm×180cm	3	330
マジックテープ	2.5cm×30cm	2	220
タブレットカバー	サイドミラーに合う形	2	220

② 実際に車に張り付け、前横部分をセロハンテープで仮どめして接着部分に印をつけ、平らな場所に移し、撥水性の強力ボンドでべた張りする

③ ハサミで曲線部分の形を整える ④ 後ろ両端にマジックテープをつけ、前横部分との脱着を可能に

⑤ タブレットカバーを取り付ける。ジッパーをおろせば完全にフィット ⑥ 窓に巻きつければ完成!

追記:実際に装着してみたら、完全に霜が防げた。不格好だがピッタリで風の影響もなし。安価で自己満足の一品。来年のPTA・職員展に出品しよう。

